

令和8年2月26日

富士見市議会議長 勝山 祥 様

総務常任委員会委員長 村 元 寛

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、所管事務調査として下記の事項について調査を終了したので、富士見市議会会議規則第109条の規定により別添のとおり報告書を提出します。

記

- 1 調査事項 投票率の向上について
- 2 実施期間 令和7年5月21日から令和8年2月26日まで

所管事務調査報告書

令和8年2月26日

総務常任委員会

委員長
委員
委員
委員

村元 寛
松本 剛
深瀬 優子
川畑 勝弘

副委員長
委員
委員

斉藤 隆浩
伊勢田幸正
今成 優太

1 調査事項

投票率の向上について

2 調査目的

富士見市においては、市民の通勤・通学先が県外である割合が高いことに加え、全国的な傾向と同様、各種選挙における投票率の低下が続いている。特に、若年層の政治参加の促進が大きな課題となっている。

投票率の低下は、市民の声が行政や政治に十分に反映されにくくなる要因ともなり、地域自治の活力にも影響を及ぼすことが懸念されている。

本委員会ではこうした状況を踏まえ、令和7年度の調査事項を「投票率の向上について」とし、市民が選挙に参加しやすい環境づくりや、主権者意識の醸成に資する取組を検討するため、年間を通じて調査研究を行うこととした。

3 調査の実施状況

| | |
|------------------------------|---|
| 令和7年5月21日（水） | 総務常任委員会 ・投票率の向上について調査することを決定 |
| 令和7年6月10日（火） | ・議員研修会の実施について決定 |
| 令和7年8月6日（水） | 議員研修会 テーマ：埼玉県における投票率向上に関する取組について 講師：埼玉県選挙管理委員会 【概要】 これまでの施策に加え、直近の参議院議員通常選挙における具体的な取組もご紹介いただいた。 投票率向上に対する各施策の効果を分析することが容易ではない中、費用対効果の観点からも試行錯誤を重ねながら取り組まれている現状について、率直にご説明いただき参考となった。 |
| 令和7年9月9日（火） | 総務常任委員会 ・行政視察の実施について決定 |
| 令和7年10月7日（火） 令和7年10月8日（水） | 行政視察 テーマ：若者の声を届ける選挙について 視察先：大阪府豊中市 |

| | |
|---|--|
| | <p>【概要】 豊中市は、大阪大学との連携を起点に、官民学連携による試行錯誤を重ね、18・19歳を対象を絞った啓発やキャンパス内期日前投票所の設置など様々な工夫をした事業を実施し、若年層の投票率向上につなげた。視察を通じ、富士見市においても新たな取組の試行と、若者と連携する体制づくりの重要性が示唆された。</p> <p>テーマ：駅での期日前投票所の設置について 視察先：三重県桑名市</p> <p>【概要】 桑名市は、意欲ある若手・中堅職員を中心とした体制のもと、選挙管理委員会は法的助言に徹し、実効性の高い取組を数多く実現していた。特に、駅や商業施設での期日前投票所の設置は高い効果を上げており、富士見市においても投票率向上策として大いに参考となる取組であった。</p> |
| 令和7年12月2日（火） | 総務常任委員会 ・行政視察報告書の提出について決定 ・意見交換会の実施について決定 ・意見交換会実施要請書及び議員派遣決定要求書の提出について決定 |
| 令和7年12月16日（火） 午後3時30分から 午後5時30分まで | 意見交換会 テーマ：若者の声を届ける選挙について 対象者：淑徳大学地域創生学部地域創生学科の学生 <p>【概要】 意見交換会では大学生の率直な意見から、情報発信や政治参加への課題が明らかとなり、改善に向けた具体的なアイデアや市政への要望も得られた。今後は、若者が主体的に参加できる環境づくりについて検討を進める必要性が確認された。</p> |
| 令和8年2月26日（木） | 総務常任委員会 ・意見交換会実施報告書及び議員派遣報告書の提出について決定 ・所管事務調査報告書の提出について決定 |

4 調査結果

(1) 若者の政治参加・投票率向上に向けた先進自治体の取組調査

若年層の政治参加促進を目的として、先進自治体の取組を調査した結果、大別して次の事項について確認することができた（詳細は、各行政視察報告書を参照）。

- ①若者を対象とした啓発手法の工夫（SNSの活用、関心を引くデザインやメッセージ）
- ②駅や商業施設、大学キャンパス等、生活動線上への期日前投票所設置の効果
- ③若手・中堅職員を中心とした柔軟なプロジェクト体制の有効性
- ④選挙管理委員会が法的助言に徹し、現場の自由度を確保する運営手法

(2) 若者との意見交換会を通じて把握した課題

若者との意見交換会では、市議会や市政に関する情報発信の在り方、政治参加の仕組みに対する率直な意見が多く寄せられ、次の事項が明らかとなった。

- ①市政・議会情報が若者に十分届いていないという課題
- ②投票手続や制度が分かりにくいことによる参加のハードル
- ③若者の意見や要望を行政や議会に届ける仕組みの不足

(3) 投票環境の向上に関する調査結果

期日前投票所の設置場所や開設時間の工夫が投票率向上に一定の効果を上げている事例を確認した。富士見市においても、昼夜間人口比率や市内に複数の鉄道駅・大型商業施設を有する特性を踏まえ、現行の投票環境が十分かどうか、改めて検証する必要性が示唆された。

(4) まとめ

本調査を通じ、若者の政治参加や投票率向上には、取組の工夫に加え、若者の視点に立った情報発信や参加しやすい環境づくりが重要であることを確認した。このような環境づくりのため、富士見市における投票環境の向上策について見直していく必要性を感じた。将来の富士見市を担う若者が政治を身近に感じ、自らの問題として主体的に参加できる仕組みを構築することで、投票率の向上が期待される。